

持続的成長に向けた新経営体制への移行

～盤石な統制と迅速な意思決定・執行の両立で、さらなるブランド価値向上へ～

当社は、本日開催の取締役会において、2026年6月開催予定の第160期定時株主総会に付議する取締役会構成ならびに、取締役が兼務する執行業務について下記のとおり決定いたしました。

当社を取り巻く環境が大きく変化する中、執行への大幅な権限移譲による意思決定の迅速化を図るため、業務執行取締役の一部を、意思決定権限を付与した上で執行へ専念させます。また、ステークホルダー最適視点での経営監督機能強化のため、取締役会の独立社外取締役比率をさらに高めます。

2026年6月開催予定の第160期定時株主総会に付議する取締役会構成

職位	氏名	執行業務
代表取締役 会長 兼 取締役会議長	清田 徳明	
代表取締役 社長執行役員	田村 信也	住設事業管掌、 経営企画、内部監査室、秘書室 担当
取締役 専務執行役員	林 良祐	最高技術責任者、事業部門管掌、 お客様品質、デザイン、レストルーム事業、環境建材事業、 セラミック事業 担当 兼 WILL2030 新領域事業 担当
取締役 専務執行役員	田口 智之	最高財務責任者、コーポレート部門管掌、 法務、人財、財務・経理、情報企画、総務、リスク管理統括 担当 兼 WILL2030 マネジメントリソース革新 担当
社外取締役	津田 純嗣	
社外取締役	吉田 謙次(新任)	
取締役 常勤監査等委員	吉岡 雅之	
社外取締役 監査等委員	家永 由佳里	
社外取締役 監査等委員	長沼 知穂	
社外取締役 監査等委員	堀越 秀一(新任)	

※社外取締役である山内重徳氏、丸森康史氏は2026年6月開催予定の第160期定時株主総会終結の時をもって退任します。また、現取締役常務執行役員である武富洋次郎氏、北崎武彦氏、竹内直幹氏は、2026年6月開催予定の第160期定時株主総会終結の時をもって取締役を退任し、常務執行役員に就任予定です。

【新経営体制への移行の背景】

昨今世界を取り巻く環境は、頻発する地政学・気候変動リスクにさらされており、また、デジタル技術の急速な進化と共に消費者行動の多様化なども加速的に進んでいます。TOTOにおいても、中国大陸住設事業の急速な業績悪化や日本住設事業における収益性の漸減傾向だけでなく、セラミック事業の大幅な業績上振れといったプラス・マイナス両面での変化に直面しています。

このような状況を踏まえ、意思決定や執行のスピードを高めるためにあるべき経営体制について改めて取締役会で議論し、上記体制へ移行することを決定しました。TOTOグループは、ステークホルダーの皆様とともに新しい価値を共創しながら、より豊かで快適な未来社会を創造してまいります。

(参考) 新任取締役候補者 略歴

【社外取締役(監査等委員である取締役を除く。)]

氏名	吉田 謙次(よしだ けんじ)
生年月日	1960年9月3日
学歴	1984年3月 法政大学 経済学部 卒業
略歴	1984年4月 株式会社オリエンタルランド 入社 2015年4月 執行役員 経理部長 2016年4月 執行役員 経理部担当 2017年4月 執行役員 フード本部長 2019年4月 常務執行役員 フード本部長 2020年4月 常務執行役員 フード本部長・第8テーマポート推進本部長 2021年6月 代表取締役社長 兼 COO 社長執行役員 2025年4月 取締役 2025年6月 特別顧問 現在に至る

【監査等委員である社外取締役】

氏名	堀越 秀一(ほりこし ひでかず)
生年月日	1961年5月26日
学歴	1984年3月 一橋大学 経済学部 卒業
略歴	1984年4月 株式会社東京銀行 入行 2011年6月 株式会社三菱東京UFJ銀行 執行役員 欧州本部 欧州法人業務部長 兼 BTMU※(ヨーロッパ) 出向 ※The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ 2012年5月 執行役員 香港総支配人 兼 香港支店長 2014年8月 執行役員 三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司 頭取 2015年5月 常務執行役員 三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司 頭取 2016年5月 常務執行役員 東アジア本部長・中国拠点担当 三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司 頭取 2018年4月 株式会社三菱UFJ銀行 常務執行役員 東アジア本部長・中国拠点担当 三菱UFJ銀行(中国)有限公司 頭取 2018年6月 常務執行役員 東アジア本部長(2018年6月 退任) 2018年6月 綜通株式会社 代表取締役社長 2022年6月 綜通株式会社 代表取締役会長 現在に至る

共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適・健康



環境



人とのつながり



「社会的価値・環境価値」と「経済価値」を同時に実現する共通価値創造戦略 TOTO WILL2030 では、「きれいと快適・健康」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」としてサステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan>